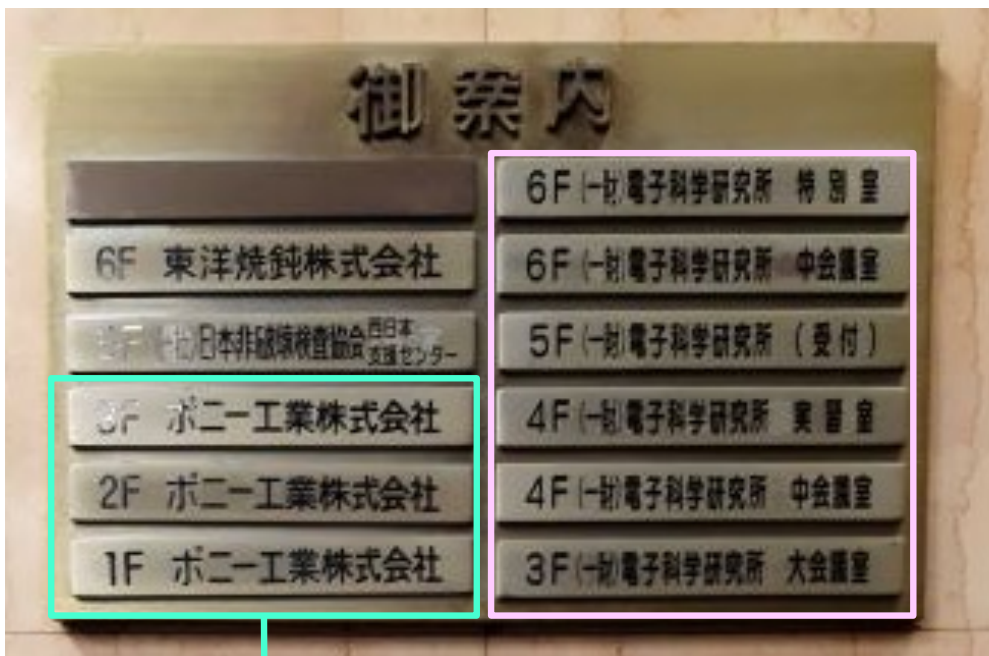


# 非破壊検査業界との情報交換等の提案

～今後の検討と議論展開に向けて～

小田 啓二

一般財団法人 電子科学研究所  
大阪府中央区北久宝寺町2丁目3-6  
非破壊検査ビル



- ・検査装置の開発・製造
- ・放射線測定器の校正(JCSS特定二次標準)
- ・関連業務(機器販売、線量測定サービス)

## 会議室ご案内

➤ PT 再認証試験

4階大会議室 8/16～24

一般社団法人日本非破壊検査協会

➤ エックス線作業主任者講習会

3階大会議室 8/18～20

一般財団法人電子科学研究所

# 電子科学研究所の沿革

- 1946年 財団法人 電子科学研究所 設立  
公益法人（文部省所管）  
阪大、阪急、シャープ、・・・
- 1966年 放射線安全協会 設立  
エックス線作業主任者試験講習会の実施  
会員制（任意団体）  
京大、阪大、非破壊検査(株)、・・・
- 1982年 両団体の合併（財団法人 電子科学研究所）
- 2004年 PD(Performance Demonstration)研修機関として認定  
（日本非破壊検査協会）
- 2005年 登録放射線取扱主任者定期講習機関として認定
- 2008年 登録資格講習機関(1種,2種,3種)として認定
- 2012年 一般財団法人へ移行（内閣府所管）

# 電子科学研究所の主な業務

## 主な業務

(数字は今年度予定回数)

- 1) エックス線作業主任者試験受験サポート  
テキスト&問題集出版  
講習会開催 (大阪5回、名古屋、広島、福岡、各1回)
- 2) 取扱主任者定期講習 (大阪3回、名古屋2回、福岡2回)
- 3) 資格講習 (1種6回、2種3回、3種2回)
- 4) 放射線取扱主任者試験受験サポート (2種大阪)
- 5) 日本非破壊検査協会PD研修  
超音波探傷試験システムの性能実証における技術者の資格及び認証
- 6) 機関誌ESI-NEWS発刊 (年6回)

## その他

- ・日本非破壊検査協会関西支部のサポート (研究発表会、見学会等)
- ・「保物セミナー」共催、「みんなのくらしと放射線展」協賛など

# 協力できそうなこと

## 1) 非破壊検査業務の実態の把握

- ・業務内容、安全対策、安全衛生体制（←労働安全衛生法）
- ・関連企業への聞き取り

## 2) 非破壊検査協会 & 業界への接触

- ・本部への正式依頼／打診
- ・本WGでのプレゼンターの紹介
- ・機器や放射線作業、事故時の対応、検査会社との関係、・・・

### 【参考】事前の聞き取り（非公式）

- ・非破壊検査協会は、検査技術水準の向上など、「利用」が第一（研究発表会は開催しているが）学会ではない  
そのための技術支援、情報交換、資格試験・認証、・・・
- ・（特に放射線に特化した）「安全」という観点は薄い  
専ら安全を取扱う部会や委員会はない
- ・本WGへの常時参加は難しそう  
但し、必要な場合に情報提供を行う担当者の推薦は可能

# 気になる点、疑問点

## 1) 安衛法・電離則の下での事故に関する措置

- ・所轄労働基準監督署長への報告
- ・その後の対応？
- ・「放射線による被ばく事故防止の徹底について」（通知）  
（労働省労働基準局 安全衛生部長）

## 2) 厚労省としての対応

- ・調査／対応の担当部署：安全衛生部？
- ・メディア（社会）への報告予定は？  
対処の仕方、報告の仕方（事故例としての報告？）、・・・
- ・制度の違い or カルチャーの違い  
立場としては、種々の危険業務のひとつ！

## 3) IAEAへの報告

- ・前回の山口委員の説明（INES）
- ・何処が報告する？（NRA or 厚労省）

# 【参考】厚労省HP(情報発信)



職場のあんぜんサイト

働く人の安全を守るために有用な情報を発信し、職場の安全活動を応援します。  
働く人、家族、企業が元気になる職場を創りましょう。

→ HOME → お問い合わせ → サイトマップ 文字サイズ 小 中 大 背景色 白 黒

検索

労働災害統計

災害事例

リスクアセスメント  
実施支援システム

安全衛生キーワード

化学物質

免許・技能講習

ホーム > 労働災害事例

## 労働災害事例



死亡災害や重大災害などの事例について、発生状況や発生原因そして対策をイラスト付きで紹介합니다。

検索

→ 使い方

業種 → 指定なし  
事故の型 → 指定なし  
起因物 → 指定なし  
キーワード →

さらに絞り込む(発生要因)

物 指定なし  
人 指定なし  
管理 指定なし

検索開始 リセット

## 労働災害事例更新状況

令和3年6月2日追加分(10件)

令和3年4月27日追加分(5件)

令和2年6月25日追加分(19件)

令和元年7月24日追加分(15件)

平成31年4月24日追加分(10件)

平成30年12月4日追加分(3件)

平成30年5月7日追加分(20件)

平成29年9月14日追加分(25件)

平成29年8月1日追加分(20件)

平成29年2月14日追加分(20件)

平成28年8月3日追加分(11件)

平成28年4月1日追加分(24件)

平成28年2月1日追加分(20件)

全2560件

## 災害事例

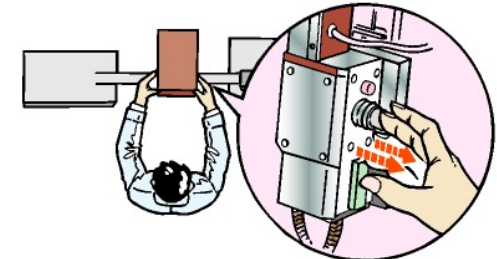
- 労働災害事例
- 死亡災害データベース
- 労働災害(死傷)データベース
- ヒヤリ・ハット事例
- 機械災害データベース



## 留意事項について

各事例は、ワードやエクセルにコピーして貼り付けることができません。

例) エックス線装置の漏洩エックス線  
検査中、放射線皮膚障害



[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SAI\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx)

# 加えて検討して欲しい点

(安全文化の観点から)

## 1) 管理体制

- ・一義的には事業者の責任  
総括安全衛生管理者、産業医、安全管理者、…  
あくまで、「労働者の安全と健康の確保」
- ・元請と下請の関係  
安衛法では元請の責任（教育も）  
ゼネコン、原発関連業務でも指摘？

## 2) 「放射線安全文化の醸成に関する専門研究会」等との関係

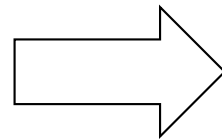
- ・IRPA対応とはかなりのギャップがあるが…
- ・まとめる（組込む）にしても難しいが…
- ・過去の事故後対応との比較も入れたい

## 3) 厚労省との新しい連携ルートの確立

- ・(押し売りではなく)協力する姿勢でのコンタクト
- ・この機会に…

# 【参考】安全文化

「もんじゅ」事故(1995)  
JCO臨界事故(1999)  
  
乳製品中毒事件(2000)  
牛肉偽装事件(2002)  
.....  
.....



報告、連絡、相談  
(複数ルートによる管理)  
警報鳴らし&告発者保護  
  
↓  
**技術者倫理**  
企業倫理  
→学会「倫理規程」

意識 (判断基準)	規範 (具現化したもの)
<b>モラル</b>	<b>倫理 (自律的)</b>
常識	法 (他律的)